

厚生労働科学研究費補助金(がん対策推進総合研究事業)  
分担研究報告書

3学会合同「がんゲノムネット」を用いた、国民への「がんゲノム医療」  
に関する教育と正しい情報伝達に関する研究に関する研究

研究分担者 高橋 俊二  
がん研究会有明病院 総合腫瘍科部長

研究要旨 インターネットなどを用いた情報配信事業については、情報ツール、コンテンツ及び運営方針（記事更新のタイミングなど）を決定し、分担執筆者を選定した。出版事業に関しては、書籍名、内容、項目を決定し、出版社、分担執筆者を選定した。市民向けのゲノム講習会や3学会の学術集会内でのシンポジウム、教育セミナー、市民公開講座については、まず日本癌学会の市民公開講座における講演が予定されている。

#### A. 研究目的

本研究は、3学会合同WGを基盤とし、患者、患者家族、一般市民を対象に、現状のがんゲノム医療の全体像をまとめアップデートを随時行いながら、ゲノム関連情報の提供を行うことを計画する。各学会に所属する専門家による現状の解説や将来像、現時点では達成できていないことなど負の側面も含めて正確な情報を提供する。情報ツールとしては、3学会のホームページだけではなく、患者会のホームページ、NPOがん関連ネット、メディア企業、医学系出版社、大手のインターネットサイトを用いる。各学会の学術集会、市民公開講座、大学のがんプロフェッショナル講座、国立がん研究センター、患者会、他医療従事者向け教育事業などと連携する。

研究期間内に、国民を対象とした「がんゲノムネット」のコンテンツ・体制を整えることを目標とする。

#### B. 研究方法

各学会に所属する専門家による現状の解説や将来像、現時点では達成できていないことなど負の側面も含めて正確な情報を提供するために、3学会のホームページだけではなく、患者会のホームページ、NPOがん関連ネット、メディア企業、医学系出版社、大手のインターネットサイトを用いて情報を提供する。

班会議においてまず書籍、ホームページの内容について検討し、分担項目の執筆、編集、収録を行った。

#### C. 研究結果

収集した情報をとりまとめ、書籍「よくわかるがんゲノム医療」、「がんゲノムネット」の基礎的な分野の講義について担当した。

Q6-10 (Q6ゲノムの異常によってがんになりますか? Q7 がん細胞にはゲノムの異常がどのくらいありますか? Q8 がんは遺伝しますか?

Q9 がん遺伝子とがん抑制遺伝子の違いはなんですか? Q10 ドライバー遺伝子とはなんですか? を担当し、執筆者依頼、編集を行った。

#### D. 考察 E. 結論

2019年度に遺伝子パネル検査が実地臨床にて開始され、実施医療機関が増加するに従い、医療者側の理解度は向上してきたが、患者側の理解度は様々であり、検査実施/説明の前後に医師/コーディネーターから長時間の説明が必要になることも多い。医療者と患者、患者家族、一般市民とがゲノム医療についての正確な知識を共有するために、インターネットを用いたこの方法が有用であり、今後の継続、更新改訂が重要と考えられる。

#### F. 研究発表

1. 論文発表  
なし

#### G. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得 なし
2. 実用新案登録 なし
3. その他 なし